

BCAO関西支部 第40回支部勉強会議事録

1. 概要

(1)日時: 2010年2月17日(水)18:45~20:30

(2)場所: シミズビルライフケア関西 会議室

(3)座 長: 寺西(ストアジャパン社)

(4)書 記: 藤村(竹中工務店)

(5)出席者: 18名(順不同・敬称略) 荒二井(日本気象)、伊藤(TeleContinuity)、上田(情報システム監査)、大館(ユーエスジェイ)、大野(アビームコンサルティング)、日下(住友電工)、廣本(神戸大学)、角(日本建築総合試験所)、竹本(サイエンスクラフト)、田中(グリコ栄養食品)、寺西(ストアジャパン社)、萩原(大林組)、速水(大阪地下街)、福島(清水建設)、藤村(竹中工務店)、藤本(竹中工務店)、前田(富士火災)、吉田(参天製薬—オブザーバー)

(6)テーマ1:「米国のリスクとBCPの現状」:伊藤氏(TeleContinuity)

国内外の活動を通じて感じる事項をBCPの現状を踏まえ説明頂く。

- ・米国と日本のSECURE(SEcurity)の考え方の違い
- ・米国のリスク:オバマ大統領の60日リポートに見られるサイバーセキュリティへの取組
- ・事業継続の国際標準化の波と米国企業群のBCPの考え方
- ・災害初動時の連絡体制(事例:911、大停電、カトリナ)
- ・2000年問題から出た5つの問題点(インフラストラクチャー・プロテクションの誤解/バックアップサイトの誤解/近隣インフラストラクチャー依存の誤解/IP電話やインターネット電話の誤解/経路の多様性の誤解)
- ・非常時音声継続の必要性と要求定義(地理的独立性/ネットワーク独立性/端末独立性/サバイバル・テレコミュニケーション・サービス/被災地域からの分離及び非依存性)

(7)テーマ2:「東海道新幹線架線事故の経験と危機管理」:荒二井氏(日本気象)

1月29日発生した東海道新幹線架線事故での車内閉じ込めの経験とアドバイスを紹介頂く。

- ・車内アナウンス状況を時系列で説明
- ・換気、空調、トイレ、JR・車掌の対応、避難誘導、等の車内状況
- ・上記状況下における個人の行動
- ・ネット利用による情報収集(鉄道情報サイト、火災情報、ニュースサイト)
- ・今回の経験からのアドバイスに対し、閉所での危機管理についてメンバーより事例紹介があった

以上